

第 10 章 愛知県総合教育センター

第 1 節 事業方針

1 教育研究調査

学校の現状に即した教育課題及び教育行政上の今日的な課題を把握して、学校・教育委員会各課との連携の下に、中・長期的な展望に立って、それぞれの課題に応えるための先導的な研究を進め、学校における教育実践の充実に寄与する。そのために実態調査・課題把握、研究実践、成果の発信という見通しをもって研究を進める。

2 教育関係職員研修

教育関係職員としての自覚を深め、教育の理念に基づき、資質・能力の向上を図るとともに、教育指導に関する基礎的、専門的知識・技能の充実や指導力の向上を目指して、教育実践の場に直結した研修を行う。

3 教育相談

教育活動の充実・改善のために、一般教育相談・特別支援教育相談・教育関係職員相談を行う。また、各学校及び地域が行う教育相談活動の向上を図るため、教育相談担当者の支援を行う。

4 教育情報収集・提供

教育活動の充実・改善のために、各種教育情報の収集・処理・提供及び教育情報通信ネットワーク等の管理・運営を行う。また、コンテンツの作成・充実を図りその他図書資料の貸出し等を行う。

5 生徒実習

農業教育（農業教育共同実習所）

県内の高等学校の農業に関する学科及び系列で学ぶ生徒を対象として、農業機械に関する基礎的な技術・技能と知識を習得させ、実践力を高めるため、宿泊による集中的・効率的な農業機械実習を行う。また、希望者に対して農業機械等の運転資格等取得のための講習を行う。

第 2 節 事業概要

1 教育研究調査事業

教育研究調査の事業方針に基づき、重点を次の三点とする。

- (1) 学校の教育課題及び教育行政上の今日的な課題を探り、それに応える。
- (2) 研究と研修との連携をいっそう図り、研究成果を研修講座の充実・改善に生かす。
- (3) 研究成果の発信と学校への普及・活用を図る。（研究発表会、研究紀要、ウェブページ、研修講座等）

平成 28 年度において行った研究・調査は、次のとおりである。

領域	番号	研究主題	研究内容	研究形態
教育課程及び学校の諸課題	1	協働共育型ミドルリーダーの育成に関する研究	研究の代表委員が、所属校における教育実践上の課題を見いだし、その解決に向けて同僚教員と協働することにより、学校としての組織力を向上させるとともに、その過程を記録・分析することにより、「協働共育型ミドルリーダー」を育成するための校内研修プログラムを開発する。	共同研究 (協力校) 大学連携
	2	授業力向上を目指したアクティブ・ラーニングの実践に関する研究	「あいちの教育ビジョン2020－第三次愛知県教育振興基本計画－」で重点的取組の一つとされる教員の授業力の向上を着実に図るため、今後の初等中等教育における学習・指導方法の柱となるアクティブ・ラーニングの実践に関する研究を行う。	所内研究
	3	多様な学習成果の評価手法に関する研究	前年度まで実施していた「高等学校における多様な評価手法に関する研究」の成果を基に、主体的・協働的な学習活動とその到達度を測るパフォーマンス評価等を導入する際に参考となる資料を作成し、学校における指導と評価の改善に資する。	所内研究
	4	道徳教育の推進の在り方に関する研究	児童生徒の道徳性を育むことは、時代が要請する大きな課題の一つである。そこで、学校種における道徳教育推進の在り方や、発達段階を考慮した計画的・発展的な指導と評価の在り方について研究する。	共同研究 (協力委員) 大学連携
	5	児童生徒の情報モラルの指導法に関する調査研究	各発達段階における子どもたちのインターネット利用及び指導実態を把握し、効果的な情報モラルの指導法の研究を行う。また、その成果の一部を愛知エースネットコンテンツとして公開し、小中学校及び高等学校における系統的な情報モラル教育の推進を図る。	共同研究 (協力委員) 大学連携
	6	組織的な教育相談における教員の力量向上に関する研究	前年度まで実施していた「教育相談における校内支援体制に関する質的研究」で理論化した校内支援体制の構築過程を実践・検証、定着化するための具体的方策を考える。研究協力委員の聞き取り調査により、組織で行う教育相談に関する実践事例を収集し、分析する。これを基に組織による問題解決が体験できる研修プログラムとその教材(事例集)を作成する。	共同研究 (協力委員)
	7	障害の特性に応じた指導・支援の在り方に関する研究	特別支援学校と小中学校との連携を含めた地域支援の在り方に焦点を当て、特別支援学校が行うセンター的機能において、小中学校の中で実効性のある指導・支援ができる方法を探究する。	共同研究 (協力校)
教科等の指導の充実	8	高等学校新入学生徒の学力に関する研究 (国語)(数学)(英語)	全県的な規模における高等学校新入学生徒の学力の実態把握及び教科指導の在り方について研究する。	共同研究 (協力委員)
	9	教科指導の充実に関する研究(国語)(地歴、公民)(数学)(理科)(英語)(技術・家庭)(情報)	学校における教科指導の現状把握と指導上の課題等について研究する。	共同研究 (協力委員)
	10	産業教育の充実に関する研究(農業、水産)(工業、商業)(家庭、看護、福祉)	生徒及び教員が活用できる教材等の開発・収集と、その指導法等について研究する。	共同研究 (協力委員)
	11	情報教育の充実に関する研究(インターネットの教育利用に関する調査研究)	インターネットや校内ネットワークを教育利用するための技術情報及び実践事例を収集・作成し、研究成果を愛知エースネットのコンテンツとして公開することにより、情報通信ネットワークの利活用の促進を図る。	共同研究 (協力委員)
		同(ICT 授業活用に関する研究)	ICT機器を活用した授業の充実を図るための研究を行う。タブレットPCなどのICT機器の特性を把握し、各教科における効果的な活用ができる授業場面等について研究し、研究成果を愛知エースネットのコンテンツとして公開する。	
	12	特別支援教育の充実に関する研究	愛知県特別支援教育推進計画(愛知・つながりプラン)における「研究・研修の充実による指導力の向上」の推進方策を受け、特別支援教育の実践に役立つ「自作教材・教具」に関する情報を収集・整理し、研究成果を愛知エースネットのコンテンツとして公開する。	所内研究

2 教育関係職員研修事業

幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校における教育実践上の諸問題を解決するため、次の事項に留意して研修を行った。

(1)教育実践に役立つ研修

(2)参加者が意欲的に取り組むことができる研修

平成 28 年度に実施した研修は、次のとおりである。

ア 研修区分・対象校種別講座（コース）数

対 研 修 区 分	幼 ・ 保 他	小	中	高	特	小 特	中 特	高 特	小 中	幼 小 中	小 中 特	中 高 特	幼 小 中 高	幼 小 中 特	小 中 高 特	幼 小 中 高 特	小 中 高 特 他	合 計		
																			計	
基本 研修	新規採用 教員研修	1	1	1	1			1				1							8	
	教職経験者 研修	1	2	2	3	3						1				2			14	
職務 研修		1		1	4	2			7	5			1						21	
課題 研修		1	1					1		1						3	1		8	
専門 研修		1	2	2	8	1	6	1	5	3		1	2		1	7	12	17	69	
長期 研修					1	1				1						2			8	
合 計		5	6	6	17	8	6	1	14	9	1	0	7	2	0	1	15	13	17	128

イ 研修受講者数

(単位：人)

区 分		幼	小	中	高	特	その他	合 計
研修 人員	教員等	376	1,703	998	1,687	719	57	5,540
	学校事務 職員等		188		122		1	311
	計	376	2,889		2,528		58	5,851
研修 延人員	教員等	1,071	7,341	4,257	6,048	2,511	104	21,332
	学校事務 職員等		585		124		6	715
	計	1,071	12,183		8,683		110	22,047

(注 1)教員等研修のうち長期研修・派遣研修・eラーニング単独研修を除く。

(注 2)「その他」は、保育所長、保育士等

3 教育相談事業

(1)一般教育相談

ア 対象

児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

身体・精神、学業、不登校、いじめ、非行、進路・適性、家庭教育、体罰、暴力行為、セクシャル・ハラスメント等

ウ 日時

月～金曜日 午前 9 時～午後 5 時

平成 28 年度の相談実施状況は、次のとおりである。

内容別	面接相談（相談来所者総数）（人）					電話相談（回）				
	小学生	中学生	高校生	その他	合計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
身体・精神	105	5	30	3	143	62	26	51	1	140
学業	43	5	6	2	56	24	12	11	0	47
不登校	52	247	286	1	586	34	116	184	1	335
いじめ	0	2	2	0	4	12	13	14	1	40
いじめ関連	(0)	(2)	(2)	(0)	(4)	(16)	(15)	(21)	(1)	(53)
非行等	3	41	3	0	47	3	12	6	0	21
性格等	32	37	63	5	137	17	15	64	4	100
進路・適性	0	1	51	42	94	3	28	84	19	134
家庭教育	151	12	31	22	216	64	42	37	4	147
その他	0	0	4	0	4	130	78	63	88	359
合計	386	350	476	75	1,287	349	342	514	118	1,323

※「いじめ関連」は、「いじめ」と「他の区分に入る相談でのいじめに関連するもの」との合計であり、すべての合計の内数として示す。

(2) 特別支援教育相談

ア 対象

特別な支援を必要とする幼児児童生徒とその保護者及び関係教職員等

イ 内容

家庭での養育、就学や進路の問題、幼稚園や学校等での指導方法等

ウ 日時

月～金曜日 午前 9 時～午後 5 時

平成 28 年度相談実施状況は、次のとおりである。

(単位：人)

内容別	就学前	小学生	中学生	高校生	小計	保護者	教職員等	合計
家庭養育	10	31	9	0	50	86	2	138
就学	123	30	1	0	154	226	14	394
指導・支援	49	349	79	20	497	824	38	1,359
障害の程度	4	15	0	0	19	36	1	56
進路・適性	7	16	6	2	31	48	2	81
その他	1	2	4	0	7	12	1	20
合計	194	443	99	22	758	1,232	58	2,048

対象幼児児童生徒の障害別内訳

(単位：ケース)

視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・ 身体虚弱	言語障害	自閉症・ 情緒障害	その他	合計
1	3	97	13	0	4	440	594	1,152

(3) 教育関係職員相談

県内の教育関係職員の身上・生活上のさまざまな問題について、専門医・相談員が相談に応じ、その解決のために援助を行い、福祉を増進しようとするものである。職務上の悩み、家族や生活上の問題、メンタルヘルスに関する問題など、平成 28 年度中に合計 163 回の相談があった。

4 教育情報収集・提供事業

(1)教育情報処理

教育情報の収集・処理・提供を通じて、教育活動や教育研究の質的向上を図るとともに、教育関係者のコンピュータ利用に対する関心と理解を深めるため、アンケートの集計処理、生徒指導データ処理、統計分析処理等の処理サービスを行っている。

(2)図書資料

教育関係の専門図書、研究紀要、研究報告書、教科書、教育関係雑誌を収集・整理して、閲覧に供し、図書の貸出しを行っている。

研究紀要、研究報告書等については、コンピュータによる文献検索サービスを行い、教育関係者の利用に供している。

ア 保有数 (29.3.31現在)

教育関係図書	研究紀要・研究報告書	教科書	雑誌	新聞
46,692冊	66,602冊	24,469冊	26種	3種

イ 平成28年度利用状況

開館日数	入館者数	利用図書冊数
243日	754人	3,076冊

(3)愛知県教育情報システム (AIES)

学校における教育活動を支援するため、教育課題の解決や教育実践に役立つ各種の情報を収集・蓄積し提供する。

ア 主なデータベース

データベースの分野	主な内容
図書資料室関係情報	図書資料室に保管されている研究論文、教育図書等の情報
国立教育政策研究所関係情報	全国の教育センター等刊行論文、実践的教育研究主題、博士・修士論文題目、全国の教育センター等における教職員研修講座の情報

イ 利用方法

総合教育センターのホームページ (URL: <http://www.apec.aichi-c.ed.jp/>) 及び愛知エースネットのホームページ (URL: <http://www.aichi-c.ed.jp/>) から利用できる。

(4)愛知県教育情報通信ネットワーク (愛知エースネット)

県内の教育関係機関がインターネットへ接続するための拠点となるとともに、接続する学校間で情報交換ができるサービスを提供する。また、愛知エースネットを経由することで、有害情報へのアクセスを制限する。

ア 主なサービス内容

- (ア) 公開用ホームページと内部用ホームページの開設
- (イ) 電子メールの利用
- (ウ) 愛知県教育情報システム (AIES) データの提供
- (エ) コンテンツの提供
- (オ) eラーニングの利用

イ 利用校等

(29.3.31現在)

校種等	接続数	備考
小学校	16校	・FTTH等 6校 ・ADSL等 4校 ・ISDN等 6校
中学校	11校	・FTTH等 7校 ・ADSL等 1校 ・ISDN等 3校
県立学校	176校	・FTTH等 168校 ・ADSL等 8校
その他	4機関	・FTTH等 2機関 ・ADSL等 2機関
合計	207機関	・FTTH等 183機関 ・ADSL等 15機関 ・ISDN等 9機関

5 平成 28 年度普及事業の概要

(1) 研究発表会

第 56 回愛知県総合教育センター研究発表会（平成 28 年 11 月 29 日）

研究発表（6 部会）

部会番号	主 題
1	協働共育型ミドルリーダーの育成に関する研究
2	多様な学習成果の評価手法に関する研究
3	児童生徒の情報モラルの指導法に関する調査研究 － 児童生徒の実態と情報モラル指導の在り方－
4	障害の特性に応じた指導・支援の在り方に関する研究 － 特別支援学校のセンター的機能を活用した小・中学校における特別支援教育の推進－
5	論理的思考力を育む国語科指導法に関する研究
6	高校理科におけるパフォーマンス課題とその評価に関する研究

(2) 主な刊行物

ア CD-ROM による研究刊行物

研究紀要 第 106 集

イ 研究紀要別冊

「平成 28 年度高等学校新入学生徒の学力に関する研究〔国語・数学・英語〕」

(3) 要請訪問

県内の教育活動推進のため、研究相談に応じたり、要請により職員を派遣し、指導助言にあたる。
(上欄は件数、下欄は対象人数)

内容 対象	生徒 指導	教科 指導	進路 指導	家庭 教育	特別支 援教育	教材 制作	教育 相談	道徳 教育	審査 発表	情報 教育	その他	合 計
幼 児					10							10
					43							43
児 童 生 徒	1	8							3	6	1	19
	45	3,430							120	2,165	700	6,460
教 員	14	57			53	3	9	9	8	4		157
	760	2,530			3,130	60	326	250	313	145		7,514
P T A										2		2
										30		30
一 般 (高 齢 者)											2	2
											40	40
一 般 (サークル)							3					3
							60					60
そ の 他		2			17		2					21
		70			689		84					843
合 計	15	67			80	3	14	9	11	12	3	214
	805	6,030			3,862	60	470	250	433	2,340	740	14,990

(各部の総計)

(4) 教育研究サポートデスク相談件数

校数(人数)

小学校	中学校	高等学校・特別支援学校	その他	合計
0(0)	0(0)	3(4)	1(1)	4(5)

6 平成 28 年度生徒実習の概要

農業教育（農業教育共同実習所）

(1) 生徒実習（対象：農業に関する学科及び系列で学ぶ 2 年生）

ア 参加生徒

区分	農園系学科	農士林系学科	生活食科系学科	総合学科(系列)	計
参加学級・系列数	18	7	8	2	35
参加生徒数	男子	148	65	31	543
	女子	80	229	46	761
宿泊延べ生徒数	男子	426	129	61	1,505
	女子	237	458	91	1,969
日程	3泊4日	3泊4日	2泊3日	2泊3日	
参加学科・系列数内訳 (内学級・系列数)	農業(4) 園芸(3) 園芸科学(2) 農業園芸(2) 施設園芸(1) 生物工学(2) 生物生産(2) 動物科学(2)	農業土木(1) 環境デザイン(3) 林業(1) 林産工芸(1) 森林環境(1)	生活科学(4) 人と自然(1) 食品科学(3)	アグリサイエンス(1) 環境デザイン(1)	33学級 2系列

イ 実習内容

(ア) エンジン分解・組立実習

学科系	コース	実習内容	実施学科・系列数	
			農園系	農士林系
農園系・農士林系	A	2機種分解・組立 4サイクルカブソリンエンジン 2サイクルカブソリンエンジン	5	1
	B	2機種分解・組立 男子：4サイクルディーゼルエンジン及び4サイクルカブソリンエンジン 女子：4サイクルカブソリンエンジン及び2サイクルカブソリンエンジン	13	6
生活食科系		4サイクルカブソリンエンジンの分解・組立	8	
総合学科(系列)		アグリサイエンス系列：4サイクルカブソリンの分解・組立 環境デザイン系列：4サイクルエンジン(ディーゼル又はカブソリン)の分解・組立	2	

(イ) 運転実習

学科・系列	実習内容	実施学科・系列数
農園系	トラクタ基本運転3コース・総合運転と下記の応用運転	
	トラクタ応用運転(けん引・ホイールローダ)	3
	トラクタ応用運転(けん引・フォークリフト)	0
	トラクタ応用運転(ロータリ耕うん・ホイールローダ)	1
	トラクタ応用運転(ロータリ耕うん・ドラグショベル)	2
	トラクタ応用運転(ロータリ耕うん・フォークリフト)	1
	トラクタ応用運転(ホイールローダ・ドラグショベル)	7
	トラクタ応用運転(ホイールローダ・フォークリフト)	4
	トラクタ応用運転(ブルドーザ・ドラグショベル)	0
トラクタ応用運転(ドラグショベル・フォークリフト)	0	
農士林系	トラクタ基本運転1コースと下記の施工機械運転	
	ブルドーザ・ホイールローダ・ドラグショベル	3
	ブルドーザ・ドラグショベル・フォークリフト	1
	ホイールローダ・ドラグショベル・フォークリフト	3
生活食科系	トラクタ基本運転3コース	8
総合学科(系列)	アグリサイエンス系列はトラクタ基本運転3コース	1
	環境デザイン系列はトラクタ基本運転と施工機械運転(ブルドーザ、ホイールローダ、ドラグショベル)	1

(2)資格取得講習

(対象：県内高等学校の農業に関する学科・系列で学ぶ3年生の希望者)

講習名	日程	参加人数	
小型車両系建設機械（3t未満）運転業務講習	2日（4回）	男子	13
		女子	10
フォークリフト（1t未満）運転業務講習	2日（6回）	男子	18
		女子	6
農業機械技術講習	1日（2回）	男子	5
		女子	4
大型特殊自動車運転技能講習	3日（1回） （自由練習7日）	男子	4
		女子	0
計		男子	40
		女子	20